

広島交響楽団 特別定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The Special Subscription Concert

ウラディーミル・フェドセーエフを迎えて

指揮
ウラディーミル・フェドセーエフ
Conductor : Vladimir Fedoseyev

©Roman Goncharov

ショスタコーヴィチ (没後50年)
ピアノ協奏曲第1番ハ短調作品35*

Shostakovich : Piano Concerto No.1 in C minor Op.35

チャイコフスキー
交響曲第5番ホ短調作品64

Tchaikovsky : Symphony No.5 in E minor Op.64

コンサートマスター:三上亮、北田千尋
Concertmaster: Ryo Mikami, Chihiro Kitada

2025.6.21(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday June 21, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]

広島国際会議場フェニックスホール
Phoenix Hall Hiroshima

トランペット
児玉隼人*
Trumpet : Hayato Kodama

©Yuji Ueno

ピアノ
角野隼斗
Piano : Hayato Sumino

©Ryuya Amao



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら



被爆80周年



U31国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL



花と緑と音楽の
おもてなし



チケット料金 / S席: 12,000円・A席: 9,000円 ※小・中・高校生はS・Aとも半額

チケット発売日 / 2025年4月21日(月)

プレイガイド/ローソンチケット(Lコード: 62920)、チケットぴあ(Pコード: 289-302)、広島webチケット、広島事務局

被爆80周年 酒井茜 & 広響室内楽コンサート ~ 明子さんのピアノとともに ~



©Andrej Grlic

広響平和音楽大使マルタ・アルゲリッチが推薦するピアニスト酒井茜が
広島のためにプロデュース。広響メンバーとともに平和への想いを捧げる。

日時 2025年6月22日(日) 15:00開演 [14:30開場]

会場 JMSアステールプラザ オーケストラ等練習場

ピアノ: 酒井茜 ヴァイオリン: 北田千尋 ヴィオラ: 安保恵麻
チェロ: マーティン・スタンツェライト フルート: 森川公美
クラリネット: 高尾哲也

●入場料(税込・全席自由) / 一般: 2,000円 6/21のチケットをご購入の方は割引料金1,000円



※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催 / 広島市、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 / 東洋金属工業株式会社

特別協賛 / 中国電力 ひろぎんHD

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、
中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、ちゅぴCOM、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ 広島事務局 TEL: 082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

未来への継承

少年期にレニングラードの壮絶な戦争体験の中で音楽の意味を見出した
巨匠ウラディーミル・フェドセーエフがロシアを代表する二人の作曲家、
ショスタコーヴィチとチャイコフスキーの名作に未来へのメッセージを込める。
そして、次代を担う角野隼斗と児玉隼人(二人のHAYATO)との共演では
92歳のマエストロは何を語り、何を託すのか。
被爆80周年の節目に広響の持てる全てを注ぎ一世代の演奏で応える。



©Roman Goncharov

指揮:ウラディーミル・フェドセーエフ Conductor : Vladimir Fedoseyev

1932年レニングラード(現サンクトペテルブルグ)生まれ。1974年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の音楽監督及び首席指揮者に就任。以後40年を越えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、海外での評価も確立している。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ハンブルク・フィル、フランス国立管、フランス国立放送フィル、ベルギー国立管、チューリヒ・トーンハレ管、クリーヴランド、デトロイト、ピッツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。さらに1996年より東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、1997年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務めた。オペラ分野でも精力的に活躍しており、チューリッヒ歌劇場での数々のプロダクションに加えて、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ5月音楽祭、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、サンクトペテルブルグ・マリンスキー劇場などの一流オペラハウスや音楽祭の指揮台に上がっている。

フェドセーエフはこれまでの偉大な功績に対し、ロシア政府はもちろんオーストリア政府、ウィーン市、オーストリア・アカデミー、グスタフ・マーラー協会などから数々の賞を受賞。2012年9月にはロシア正教会の最高位、キリル総主教からセルギー・ラドネジスキー最高位の勲章を叙勲した。

ピアノ:角野隼斗 Piano : Hayato Sumino

2018年、東京大学大学院在学中にピティナ特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、N響、読響など、国内外のオーケストラと多数共演。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、昨年はロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)、ラヴィニア音楽祭(アメリカ)、グシュタード・メニューイン音楽祭(スイス)、ラインガウ音楽祭(ドイツ)へのデビューを果たしたほか、パリ、シンガポール、ソウル、そして、2025年1月には自身最大の7都市を巡るEUツアーを開催。ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界でのリサイタルを成功させるなど、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューも予定されている。“Cateen(かていん)”名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数140万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。現在、ニューヨーク在住。CASIO電子楽器アンバサダー、スタインウェイアーティスト。

角野隼斗オフィシャルサイト: hayatosum.com



©Ryuya Amai

トランペット:児玉隼人* Trumpet : Hayato Kodama

2009年、北海道釧路市生まれ。5歳からホルネットを吹き始め、9歳から本格的にトランペットを始める。2024年、第39回日本管打楽器コンクールトランペット部門において、全部門での史上最年少で第1位、及び文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。併せて特別大賞(内閣総理大臣賞)を受賞。その他にも、日本ジュニア管打楽器コンクール、日本クラシック音楽コンクール、大阪国際音楽コンクールなど、これまで10歳以降に出場したコンクールでは全て第1位及び最高位を受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などと共演。

「EIGHT-JAM」「題名のない音楽会」「クラシックTV」「日曜日の初耳学」「スッカリ」「沼にハマってきいてみた」「芸能人格付けチェック」など、多くのテレビ番組に出演している。トランペットを松田次史、辻本憲一の両氏に師事。2024年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。第7回服部真二音楽賞《Rising Star》を受賞。2025年2月に1stアルバム「Reverberate」をリリース。

児玉隼人オフィシャルサイト: hayatokodama.com



©Yuji Ueno